

事務連絡  
令和5年5月2日

保護者各位

唐津工業高校  
奨学金担当

令和6年度大学等進学予定者の奨学金申し込みについて（おしらせ）

令和6年度の大学・短期大学・専門学校に進学予定者に奨学金の申請が間もなく始まります。進学にあたって奨学金が必要な場合、「独立行政法人 日本学生支援機構」の奨学金がごございます。通常、申し込みは高校在学時に予約申し込みを行います。奨学金の内容につきましては、給付奨学金や無利子の貸与奨学金、有利子の奨学金がごございます。また、進学先において授業料の免除や減額の新制度もごございます。リーフレット(ホームページにも掲載)をご一読ください。なお、予約申し込みは、就職から進学へ進路変更をする場合(予備回)を除き、下記(第1回～第3回)の日程で申し込みとなります。また、就職にするか進学にするか未定の場合も申請が出来ます。

毎年、多くの生徒が申し込みをされますが、数年前より奨学金の申請は、生徒本人による申請が基本となっております。本人が借りる奨学金のため、期限や申請内容の不備等に伴い、**不採用**などがありますのでご注意ください。

申込・推薦等スケジュール

	生徒申し込み期間 (PCによる申込)	学校への提出書類 (マイナンバー提出書類 除く書類)	学校推薦期間 (奨学金担当)	採用候補者 決定時期(予定)
第1回	～5月31日(火)	6月1日(木) ～6月13日(火)	左記期間後	10月下旬
第2回	6月1日(木) ～6月30日(金)	7月12日(水)	左記期間後	11月下旬
第3回	7月1日(土) ～7月31日(月)	8月3日(木)	左記期間後	12月下旬
予備回	10月6日(金) ～10月20日(金)	10月27日(金)	左記期間後	1月下旬

PCによる申請に必要なIDとパスワードにつきましては、申請書類の配布に合わせてお知らせします。保護者のマイナンバー提出など、本人ではわからない内容もごございますので事前の準備をお願いします。

進学したいけどお金のことが心配な

高校生のみなさんへ



# 学びたい気持ちを応援します

経済的に困難な学生等を支援する  
制度についてチェックしよう

高等教育の修学支援  
公式キャラクター

まねこ先生



まなびーニャ

注目!

[対象]住民税非課税世帯・準ずる世帯の学生等

授業料・入学金の  
免除/減額



給付型奨学金の  
支給



申請期間

2023年4月下旬～

⚠ 学校ごとに締切日が異なるので確認を。

[対象となる学校] 大学・短期大学・高等専門学校(4年・5年)・専門学校

ポイントは次頁へ▶▶



# 高等教育の修学支援新制度について知っておこう!

高校卒業後の進路を考えると、お金のことが気になる…話しにくいけど、大切なことです。お金の心配をせずに進学できるように、父母等と一緒に調べてみましょう!

## Point ①

### 対象になる学校は?

一定の要件を満たした、大学、短期大学、高等専門学校（4年・5年）、専門学校に通う学生等が支援を受けられます。

進学を希望している学校が制度の対象になっているか、文部科学省のホームページで、調べてみましょう。



## Point ②

### どんな人が対象になるの?

要件を満たす人全員が支援を受けられます。高等学校や大学等ごとの人数制限（推薦枠）はありません。



世帯収入や資産の要件を満たしていること

住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯

基準を満たす世帯年収は、家族構成等により異なります。



進学先で学ぶ意欲がある学生等であること

成績だけで判断せず、レポートなどで学ぶ意欲を確認

進学後にしっかり勉強しなかった場合には、支援が打ち切られます。

① この他にも要件があります。詳しくはJASSOや文部科学省のホームページ、学校から希望者に配付される「給付奨学金案内」等で確認してください。

**将来、社会で自立し、活躍できるように、しっかりと勉学に励むことが大切です。**

## Point ③

### 給付型奨学金の支給額は?

住民税非課税世帯（第Ⅰ区分）の場合は、下記の額が支給されます。

（住民税非課税世帯に準ずる世帯（第Ⅱ区分、第Ⅲ区分）の場合は、Point⑤へ）

#### 給付型奨学金の支給月額

（住民税非課税世帯（第Ⅰ区分）の場合）

区分		自宅通学	自宅外通学
大学・短期大学・専門学校	国公立	29,200円 (33,300円)	66,700円
	私立	38,300円 (42,500円)	75,800円
高等専門学校（4年・5年）	国公立	17,500円 (25,800円)	34,200円
	私立	26,700円 (35,000円)	43,300円

① 生活保護世帯で自宅から通学する人及び児童養護施設等から通学する人は、カッコ内の金額となります。なお、家賃を支払いながら児童養護施設等から通学する人は、「自宅外通学」の申請ができます。





Point

4

## 授業料・入学金のサポートは？

給付型奨学金の対象者は、別途、進学先の大学等に申込みことで、授業料と入学金の免除・減額を受けることができます。（住民税非課税世帯に準ずる世帯（第Ⅱ区分、第Ⅲ区分）の場合は、Point⑤へ）

### 免除・減額の年額

（住民税非課税世帯〈第Ⅰ区分〉の場合）

区分	国公立		私立	
	入学金	授業料	入学金	授業料
大学	約28万円	約54万円	約26万円	約70万円
短期大学	約17万円	約39万円	約25万円	約62万円
高等専門学校	約8万円	約23万円	約13万円	約70万円
専門学校	約7万円	約17万円	約16万円	約59万円



① 「入学金」の免除・減額を受けられるのは、入学後3か月以内に申請して支援対象となった学生等です。夜間部や通信教育課程の場合は、これとは別の額になります。

Point

5

## 世帯収入によって支援を受けられる額が変わるの？

世帯収入に応じた3段階の基準で支援額が決まります。

例 4人家族〈本人(18歳)・父(給与所得者)・母(無収入)・中学生〉で、本人がアパートなど自宅以外から私立大学に通う場合の支援額(年額)

進学資金  
シミュレーター



自分が支援の対象になるか調べてみよう。

支援の区分は世帯構成や年収などで異なります



年収の目安

～270万円  
住民税非課税世帯  
〈第Ⅰ区分〉

～300万円  
〈第Ⅱ区分〉

～380万円  
〈第Ⅲ区分〉

① 毎年6月に更新される所得(住民税)情報で区分が判定されるので、例えば高校生のときに申し込んで対象外だった場合も、進学後(秋以降)に申し込んで支援対象となる可能性があります。

## 主なスケジュール

2024年4月から支援を受けようとする場合のスケジュールは次のとおり

事前に	準備	本人	文部科学省やJASSOのサイトで、制度の詳しい内容や自分が対象になりそうかを確認してみよう。「対象かも」と思ったら学校から申込書類をもらいましょう。
2023年4月～	給付型奨学金 申込み	本人	インターネットで申し込み、学校に必要な書類を提出しましょう。また、マイナンバー(本人分・父母等分)をJASSOに提出します。
10月頃～	通知	JASSO	支援の対象になったら通知が届きます。(予約採用の候補者決定通知) JASSOから給付型奨学金の支援対象として認められた人は、進学後に別途申し込むことで、大学等の授業料・入学金の支援も受けられます。
2024年4月	進学届 授業料等免除・減額 申込み	本人	支援の対象になる学校に入学したら、インターネットで進学届を提出します。授業料・入学金の免除・減額は、進学先の学校へ申込みします。
	支援の 開始	学校 JASSO	奨学金の最初の振込は4月または5月です。授業料や入学金も免除・減額されます。

① 申込期間は学校により異なります。給付型奨学金(予約採用)の申込期間は高校に、授業料・入学金の免除・減額の申込期間は進学先の学校に、それぞれ確認してください。

## Q & A

**Q** 支援を受けられるかどうかは、誰の収入で決まるのですか。

A. 原則、本人と父母(父母がいない場合は、代わって生計を維持している者)の収入や資産を確認して、支援対象かどうか決まります。

**Q** 給付型奨学金とあわせて、貸与型奨学金を借りることはできますか。

A. 新制度は、授業料等の免除・減額と給付型奨学金をセットで受けることで今までより支援が充実していますので、第一種奨学金(無利子)は、新制度の支援区分(第Ⅰ区分～第Ⅲ区分)に依りて、貸与を受けられる金額が制限されます。  
第二種奨学金(有利子)は、希望する額を利用できます(新制度を受ける場合の制限はありません)。

**Q** 申込みを行う際に、準備しておくことにはどのようなことがありますか？

A. 奨学金の申込みには本人と父母(父母がいない場合は、代わって生計を維持している者)のマイナンバーの提出が必要になります。マイナンバーカードを持っていない人は、別の提出書類を用意する必要がありますので、JASSOのホームページや学校から希望者に配付される説明資料を確認してください。

## information

### i くわしい情報はこちら

まずは、LINE公式アカウント  
「高等教育の修学支援」に、ぜひご登録ください。



<https://bit.ly/3iX9v2u>



奨学金に関するより詳しい情報は、  
こちらからもご覧いただけます。



「給付奨学金」  
日本学生支援機構 奨学金ホームページ  
<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/kyufu/index.html>

### i 支援内容や手続きなどについて、誰かに相談したいときは・・・

奨学金に関するよくある質問を掲載しています。

日本学生支援機構 奨学金相談サイト  
<https://www.shogakukinsupport.jp/>



一般的なお問い合わせの相談窓口です。

日本学生支援機構 奨学金相談センター  
電話：0570-666-301 (ナビダイヤル・全国共通)  
月曜日～金曜日 9時～20時 (土日祝日、年末年始を除く)

奨学金の申込手続きは在学中の学校で行います。

- ・手続きのスケジュールや個別の提出書類は、在学中の学校に相談してください。
- ・マイナンバー提出については「マイナンバー提出に関する専用コールセンター」(学校から配付される申込書類に記載しています)に相談してください。